

材料力学・破壊力学の基礎及び強度解析技術

日時
2017年 9月26日（火）
10:30～17:00

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

講座のPOINT 機器の損傷・破損による社会不安は増大していますが、事故対応業務などは決まった道がなく技術者自身の経験知をフルに活用した個別対応力が必要です。本セミナーは、世の中の事故を教材として学び、製品・機器の強度設計、事故解析（品質保証）技術、生産技術、保全に関わる幅広い技術者に役立つよう企画しました。初心者にもよく理解して頂けるよう、材料力学・破壊力学の基礎では数式よりも実現象と対比しながらの理解、応用では事故事例・破面解析事例等より分かりやすい事例を中心に解説します。

内容

講師 静岡理科大学工学部 機械工学科 特任教授
工学博士 服部 敏雄氏
岐阜大学 名誉教授（元）日立製作所 機械研究所

- はじめに
- 1. 強度設計技術と破損解析技術 2. 事故例に基づく強度設計概論
- 材料力学と破壊力学
- 1. 棒・梁の応力 2. 棒・梁の変形 3. 応力集中と破壊力学
- 4. 材料力学モデルと実構造
- 材料工学と疲労メカニズム
- 1. S-N曲線 2. 疲労破壊の機構 3. 応力集中部位の疲労
- 4. 腐食疲労
- 機械部品の疲労強度設計
- 1. 応力集中軸 2. フレッキング
- 機械部品の破損解析技術
- 破損の種類と特徴
- 1. 破損部位 2. 破損現象 3. 破損要因
- 破損事故解析法
- 1. 破損解析の手順 2. 破損解析の手法
- フラクトグラフィー（破面解析）
- 破損解析結果の強度設計への応用
- CAD/CAE一貫設計ツール
- 1. FEMの留意点 2. 材料力学/破壊力学統一強度評価
- 3. 特定位置応力法
- XI. まとめ/演習

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問を解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承願います。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 材料力学・破壊力学の基礎及び強度解析技術

セミナーコード

1101-170926

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2017/9/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			通信欄	

この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他